

令和2年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】教師と子どものギャップから考える②—子どもたちはなぜSNSにハマるのか—		
開設日	令和2年8月13日(木)	講習時間	6時間
主な受講対象者	小・中・高・特支教諭、養護教諭	受講人数	120人
講習の形態	インターネット講習(オンデマンド授業録画型) ※一旦講習を視聴し、期日までに課題のワークシート提出、さらにフィードバック講習を視聴、最後に認定試験実施(解答提出期限:8/20)を予定しております。		
担当講師	若本 純子		
講習のねらい・到達目標	本講習では、なぜ子どもたちがSNSに熱中するのかを、子どもたちの視点から理解し、生徒指導・生活指導や情報モラル教育への示唆を得ていただくことをねらいとする。		
講習内容	子どもたちのSNSトラブルを目の当たりにして「なぜこんなことをしてしまうのだろう」と思われたことはないでしょうか。「インターネットもSNSも苦手…」と指導に消極的になっておられないでしょうか。SNSやインターネットの捉え方は子どもと大人では大きく異なり、そのギャップが教育・指導がうまくいかない一因になっています。心理学の観点に基づく本講習では、なぜそれほどまでにSNSが魅力的なツールであるのか、なぜ大人からは理解できないようなトラブルが生じるのかを、子どもの視点に立って読み解いていきます。今どきの子どもたちの具体例をたくさん挙げながら、受講者同士のグループワークなども交えて、楽しくアクティブに講習を進めますので、SNSを普段使わず、苦手感をおもちの先生方にもおススメいたします。		
評価方法・基準	評価は、筆記試験の成績ならびに講習への出席状況とを兼ね合わせて行います。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	講習開設者のホームページにて試験問題を入手し、解答を受験者本人が自署にて行う。提出は郵送にて行う。	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00～10:30 (90分)	若本 純子	導入/トモダチ関係いまむかし—いちばん大切だけど嫌われないか不安	
II 10:45～12:15 (90分)	若本 純子	児童生徒のSNS利用について誤解していませんか? :児童生徒のSNS利用とトラブルの実態とトモダチ関係との関連	
12:15～13:15	昼休み		
III 13:15～14:45 (90分)	若本 純子	子どものSNS利用に対して、どのような理解や指導が求められるか(グループワークを含む)	
IV 15:00～16:30 (90分)	若本 純子	筆記試験	
受講(視聴)に当たって準備しておくもの	特になし		
予習について	予習は特に必要ありませんが、予め学習しておくことを希望する方のために、本講習と関連が深い図書を挙げておきます。西野泰代・原田恵理子・若本純子『情報モラル教育一知っておきたい子どものネットコミュニケーションとトラブル予防』金子書房2018年		
受講上の注意	・受講状況を勘案しながら講習を進めますので、講義内容がシラバスと変わることがあります。ご了承ください。 ・本講習は、令和元年度の「子どもたちはなぜSNSにハマるのか」と内容が重複いたします。		